

第12回永田青嵐顕彰全国俳句大会 代表選者 稲畑汀子選

永田青嵐大賞

受賞句 爽やかや住処と決めし淡路島

爽やかは秋の心地よい雰囲気を表わす季節の言葉。  
淡路島ならではの一句。

兵庫県知事賞

受賞句 国生みの島あますなく豊の秋

淡路島の豊かな秋のたたずまいを愛し誇りに思っている。

稲畑汀子賞

受賞句 七草が野に整へば来る忌日

忌日には秋の七草が咲き揃うのである。  
自然に親しむ作者。

洲本市長賞

受賞句 一島に三市三山風薫る

淡路島の成り立ちを一句にまとめ五月の風薫る心地よさが語られた。

南あわじ市長賞

受賞句 風吹けば風も彩り大花野

風に吹かれて花野の彩りが変化する。  
それを風も彩りととらえた妙。

**淡路市長賞**

受賞句 透明な水の鼓動や音涼し

水が立てる音はさまざまある。

その水音を水の鼓動と感ずる作者の感性。

**兵庫県淡路県民局長賞**

受賞句 青嵐忌どの道ゆくも萩の風

青嵐忌の頃に吹く風が淡路島を覆う萩の風に親しむ作者

**淡路島観光協会会長賞**

受賞句 秋めくやこんな空が深いとは

秋の空の高く深いのに感動した作者の心。

**淡路島くにうみ協会理事長賞**

受賞句 稲架かけてすなはち風の通り道

農家の暮しの一部として稲架がある。

島の風の通り道に組まれている。